

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

	警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

	絵記号の意味
	警告・注意を促す内容を示します。(例:
	してはいけない事項(禁止事項)を示します。(例:
	しなければならない行為を示します。(例:

警告

- 強制** 本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。
- 分解禁止** 本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
- 禁止** AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。
- 強制** 電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。
- 禁止** 電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。
 - ・設置時に、電源ケーブルを壁やラック(棚)などの間にはさみ込んだりしないでください。
 - ・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
 - ・熱器具を近付けたら、加熱しないでください。
 - ・電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
 - ・極端に折り曲げないでください。
 - ・電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。
 万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 強制** 電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。さわってけがをする危険があります。
- 強制** 小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。
- 強制** 濡れた手で本製品に触れないでください。電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。
- 電源プラグを抜く** 煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 水場での使用禁止** 風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。火災になったり、感電や故障する恐れがあります。
- 電源プラグを抜く** 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 電源プラグを抜く** 本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 禁止** 電源ケーブル(またはACアダプタ)、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。本製品付属以外の電源ケーブル(内部接続用含む)、ACアダプタ、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。
- 強制** 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。
- 強制** ラックへの取り付けや運用の際に落としたり転倒させたり、指をはさまないようにご注意ください。けがをする危険があります。

ハードディスクの破壊・破損・交換・修理時の注意
 「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全に消去されていません。お客様が、廃棄・破壊・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するなどのトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去する必要があります。
 ソフトウェアを削除することをハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 詳しくは、http://buffalo.mekoinc.co.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。
 TeraStationのデータを完全消去するには、TeraStationのディスク消去機能(※)を使用するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。
 ※TeraStationの設定画面にて「ディスク管理」[ディスク消去]「ディスク消去を開始」を行うことで、TeraStationの全データ領域に「0」と「1」を交互に上書きする機能です。

GPL/GPLライセンスについて
 本製品は、GPL/GPLの適用ソフトウェアを使用しており、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改造、再配布の権利があることをお知らせします。オープンソースとしての性格上著作権による保証はなされておませんが、本製品については保証書記載の条件により弊社による保証がなされています。
 GPL/GPLのライセンスについては、添付CD-ROM内 GNU_LICENSE.PDF をご覧ください。
 変更済みGPL対象モジュール、および再配布については、<http://opensource.buffalo.jp/>をご覧ください。

本製品について
 この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用するご電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。万一、障害が発生したときは次の対策を行ってください。
 ・本製品とテレビやラジオの距離を離してみる。 ・本製品とテレビやラジオの向きを変えてみる。

注意

- 強制** パソコンおよび周辺機器の取り扱い、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。
- 禁止** 次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
 - ・強い磁界、静電気が発生するところ
 - ・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
 - ・ほこりの多いところ →故障の原因となります。
 - ・振動が発生するところ →けが、故障、破損の原因となります。
 - ・平らでないところ →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
 - ・直射日光が当たるところ →故障や変形の原因となります。
 - ・火気の周辺、または熱気のごもるところ →故障や変形の原因となります。
 - ・漏電、漏水の危険があるところ →故障や感電の原因となります。

強制 本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内(ハードディスク等)のすべてのデータを他のメディアにバックアップしてください。誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制 ハードディスク内のデータは、必ず他のメディアにバックアップしてください。とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成することをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。

- ・誤った使い方をしたとき
- ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- ・故障、修理などのとき
- ・天災による被害を受けたとき

 上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制 各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

禁止 本製品の上に物を置かないでください。傷がついたり、故障の原因となります。

禁止 シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止 本製品へのアクセス中は、本製品から電源ケーブルを抜いたり、電源スイッチをOFFにしないでください。データが消失、破損する恐れがあります。

強制 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

TeraStation 導入マニュアル -はじめにお読みください-

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1 梱包物の確認

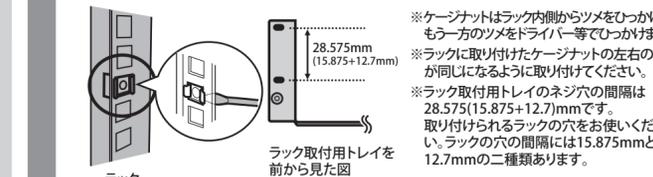
- | | | | |
|--|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> TeraStation本体..... 1台 | <input type="checkbox"/> ACケーブル..... 1本 | <input type="checkbox"/> ラック取付用トレイ..... 1個 | <input type="checkbox"/> 手回しネジ..... 2個 |
| <input type="checkbox"/> 3極-2極変換アダプタ..... 1個 | <input type="checkbox"/> 前面カバー開閉用鍵..... 2個 | <input type="checkbox"/> 手回しネジ..... 2個 | <input type="checkbox"/> M5ネジ..... 4個 |
| <input type="checkbox"/> ユーティリティCD..... 1枚 | <input type="checkbox"/> LANケーブル..... 1本 | <input type="checkbox"/> 手回しネジ..... 2個 | <input type="checkbox"/> ケージナット..... 4個 |
| <input checked="" type="checkbox"/> TeraStation導入マニュアル... 1枚 | <input type="checkbox"/> 保証書..... 1枚 | | |
| <input type="checkbox"/> iSCSIシール..... 1枚 | | | |
- ※保証書は本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。保証書には、シリアルNoが記載されています。 ※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。確認した項目には✓を付けてください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

ステップ2 TeraStationの設置

- ご注意ください**
- ・取り付ける前に、以下の点にご確認ください。
 - ・ラックの説明書をよく読み、転倒しないよう十分気を付けてください。
 - ・ラックやTeraStationの上には物を載せないでください。
 - ・TeraStationは精密な機器です。落としたり衝撃を与えないよう慎重に作業を行ってください。
 - ・TeraStationは約10kgの重量があります。落とすだけでけがすることがないように慎重に作業を行ってください。
 - ・金属部分で手をけがしないよう慎重に作業を行ってください。
 - ・「安全にお使いいただくために必ずお守りください」の指示に必ずかかっています。
 - ・TeraStationの動作時に周辺の動作環境が、温度5〜35℃、湿度20〜80%を保てる場所に設置してください。
 - ・TeraStation前面および背面は通風孔になっています。障害物などでふさがないようにご注意ください。

1 取り付けるラックにネジ穴が無いタイプ(四角い取り付け穴がある)の時は、付属のケージナットをラックの取り付け穴(左右)に取り付けます。



2 ラック取付用トレイを、付属のM5ネジでラックに固定します。



※ラック取付用トレイのネジ穴左右各2箇所をM5ネジでラックに固定します。
 ※対応のラックはEIA規格に準拠の19型ラックです。TeraStationは2U分のスペースを使用します。
 ※ネジの固定には、プラスドライバーが必要です。

3 付属の手回しネジでトレイにTeraStationを固定します。



4 ACケーブルをTeraStation背面の電源コネクタに接続した後、コンセントに取り付けてください。また製品添付のLANケーブルをTeraStation背面のLANポートに接続してください。

注意
 ACコンセントが2極の場合、付属の3極-2極変換アダプタをお使いください。3極-2極変換アダプタのアース線は電源プラグをつなく前に接続し、外すときは電源プラグを抜いてから外してください。また、アース線がコンセントや他の電極に接触しないよう確実にアース口に接続してください。

ACケーブルは、写真のように背面のケーブル抜け防止バンドで固定することができます。 ※ACケーブルを取り外すときは、ケーブル抜け防止バンドのつまみを下方に引っ張りながらバンドをはずしてください。

5 TeraStationに接続したLANケーブルのもう一方の端を、サーバやネットワークハブ(ルータ)などに接続してください。

※TeraStation(またはGigabitEthernet対応スイッチングハブ)を接続するLANポートは、主幹ネットワークとは別にGigabitEthernet対応のLANアダプタを増設することをおすすめします。主幹ネットワークにTeraStationを接続する場合は、大きなデータを読み書きする作業を夜間などネットワーク使用率の低い時間にすることをおすすめします。
 ※1つのLANアダプタにTeraStationを複数台接続して使用する場合、パフォーマンスがでないことがあります。そのようなときはLANアダプタを増設して、LANアダプタ1つにつきTeraStationを1台ずつ接続するか、ネットワークハブを変更してください。

6 TeraStation前面の電源スイッチを押してください。電源ランプが消灯状態から点滅に変わり、約1分で点灯に変わります。

注意
 TeraStationの電源をOFFにするときは、次のいずれかの手順で行ってください。
 ・TeraStation前面の電源スイッチを2秒間押し続ける。
 ・TeraStationの設定画面で「メンテナンス」[シャットダウン]「シャットダウン実行」をクリックする。上記手順を守らずに、電源がONの状態のまま、ACケーブルを取り外すとTeraStationが故障するおそれがあります。

7 TeraStation前面のLINK/ACTランプが緑色に点灯していることを確認してください。

以上で取り付けは完了です。

ステップ3 セットアップ

Windows XP/2000、Windows Server 2003をお使いの場合、あらかじめMicrosoft社ホームページhttp://www.microsoft.com/から「Microsoft iSCSI Software Initiator(英語版)」をダウンロードし、インストールしてください。「Microsoft iSCSI Software Initiator」をインストールし、TeraStationを使用することはできません。インストール中に表示される「Initiator Service」 「Software Initiator」のチェックボックスはチェックをしてインストールしてください。

1 付属のユーティリティCDをパソコンにセットします。

TeraNavigatorが起動します。
※画面の色数は「High Color(16ビット)」以上に設定しておいてください。256色以下では、「TeraNavigator」の画面が正しく表示されません。
※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、「TSNavi.exeの実行」をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックしてください。

注意

ウイルス対策ソフトやWindowsのファイアウォール機能が有効に設定されていると、TeraStationが見つからないことがあります。本製品をセットアップする前に必ず無効にしてください。有効に設定されていると、本製品をセットアップできないことがあります。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。セットアップ後に、ファイアウォール機能の設定を元に戻してください。

2 セットアップを実行します。



「かんたんスタート」をクリックします。

※Windowsでこの画面が表示されないときは？
ユーティリティCD内に収録されている アイコン(TSNavi.exe)をダブルクリックしてください。

3 [TeraStationのセットアップ]をクリックします。

4 以降は、画面の指示にしたがってTeraStationのセットアップをしてください。

※セットアップモードの選択画面では、「初回セットアップ」を選択してください。
※TeraNavigatorで自動設定された内容は、デスクトップにテキストファイルとして保存されます。
※管理者(admin)のパスワードについて
パスワード入力画面では、次の事項にご注意ください。
・出荷時設定ではパスワードはpasswordと設定されています。
・パスワードに使用できる最大文字数は半角英数20文字までです。
※出荷時設定では次のように設定されています。設定はセットアップ後に変更することもできます。詳しくは付属のCDに収録されているTeraStation設定ガイドをお読みください。
ハードディスク使用モード:RAID5モード IPアドレス:DHCPクライアント
TeraStation名:TS-RIGLxxxx
(下線部はTeraStationのMACアドレス末尾3桁です。お使いの製品によって異なります。)
管理者(ユーザ名admin)パスワード:password

5 「設定完了です」と表示されたら[はい]をクリックします。

iSCSIハードディスク接続ツールが起動します。

6



①[iSCSIハードディスクを登録する]をクリックします。

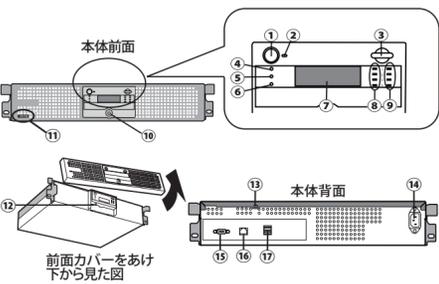
②[接続する]をクリックします。

※常にTeraStationを使用する場合は、[PCを起動したときに自動的に接続する]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させた状態で[接続する]をクリックしてください。

7 接続したボリュームが未割り当て領域としてパソコンに認識されています。Windowsで領域の確保、フォーマットしてください。

※Windows Vistaでの領域の確保、フォーマットの手順
1.iSCSIハードディスク接続ツールのメニューから[設定]-[ディスクの管理を呼び出す]をクリックします。[ディスクの初期化]画面が表示されたときは、初期設定のまま[OK]をクリックしてください。
2.未割り当て[]を右クリックし、表示されたメニューから[新しいシンプルボリューム]をクリックします。以降は画面の指示に従って、領域の確保、フォーマットを行ってください。
※Windows XP/2000での領域の確保、フォーマットの手順
1.iSCSIハードディスク接続ツールのメニューから[設定]-[ディスクの管理を呼び出す]をクリックします。[ディスクの初期化と変換ウィザード(ディスクのアップグレードと署名ウィザード)]が表示されたときは、画面の指示にしたがって手順を完了させてください。
[初期化(署名)するディスクを1つ以上選択してください]と表示される画面では、ディスクのチェックマークを表示した状態で[次へ]をクリックします。
[変換(アップグレード)するディスクを1つ以上選択してください]と表示される画面では、ディスクのチェックマークを外した状態で[次へ]をクリックします。
2.未割り当て[]を右クリックし、表示されたメニューから[新しいパーティション]をクリックします。以降は画面の指示に従って、領域の確保、フォーマットを行ってください。

各部の名称



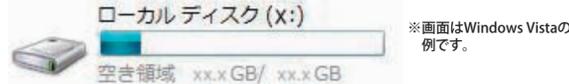
- ①電源スイッチ
電源ON:電源スイッチを押します。電源OFF:電源スイッチを2秒間(ピツと音が出るまで)押し続けます。
- ②電源ランプ
TeraStationの電源がONのときに緑色に点灯します。
- ③液晶表示切替スイッチ
液晶ディスプレイの表示を切り替えます。
- ④LINKACTランプ
ネットワークに接続されているときに、緑色に点灯します。
- ⑤MESSAGEランプ
現在の状態について伝えることがあるとき、橙色に点灯します。現在の状態については、液晶ディスプレイの表示をご確認ください。

- ⑥ERRORランプ
エラーが発生したとき赤色に点灯します。エラーの内容については、液晶ディスプレイの表示をご確認ください。
- ⑦液晶ディスプレイ
TeraStationの状態などを表示します。
- ⑧ACCESSランプ
ハードディスクアクセス時に緑色に点灯します。
- ⑨FAILランプ
ハードディスクに異常が発生したときに赤色に点灯します。
- ⑩ハードディスク取替用キーシリンダー
ハードディスクを交換するとき、および初期化スイッチを押すときに、付属の鍵で前面をあけるとできます。

- ⑪前面のハードディスク取替用キーシリンダー、鍵は誤操作防止用です。盗難防止用には、「盗難防止用セキュリティスロット」をお使いください。
- ⑫iSCSIシール貼付位置
付属のiSCSIシールをごちらの位置へ貼付してください。
- ⑬初期化スイッチ
TeraStation動作時(電源ランプ点灯)に、ピツと音がするまで(約5秒間)押し続けると、IPアドレスとパスワードが出荷時設定に変更されます。初期化スイッチでパスワードが初期化しないようにも設定することもできます。
- ⑭盗難防止用セキュリティスロット
別売のセキュリティアダプタワイヤケーブルで固定することができます。

- ⑮電源コネクタ
付属の電源ケーブルを接続します。
- ⑯UPSコネクタ
UPS(無停電電源装置)を接続できます。
- ⑰LANポート
付属のLANケーブルを接続します。
- ⑱USBコネクタ(USB2.0/1.1 シリズA)
USB接続UPSをTeraStationに増設できます。
- ※UPS以外のUSB機器(USBハードディスク、USBプリンタ、USBハブなど)の接続には対応しておりません。
- ※液晶表示切替スイッチや液晶ディスプレイの表示については、付属OCDに収録されている「TeraStation 設定ガイド」をお読みください。

8 フォーマットが完了すると、Windowsでは、[コンピュータ(またはマイコンピュータ)]の中に、ドライブアイコンが追加されています。



※画面はWindows Vistaの例です。

注意

出荷時設定では、TeraStationのIPアドレスはDHCPサーバから自動的に取得するよう設定されています。この場合、TeraStationの電源をOFFにしたときなどにIPアドレスが変更されるとTeraStationが使用できなくなります。
IPアドレスが変更されることがないよう、初期セットアップ後にiSCSI接続ツールのメニュー[設定]-[IPアドレスを変更する]画面で、[IPアドレスを自動的に取得する]のチェックを外し、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを個別設定をおすすめします。

以上でセットアップは完了です。ドライブとして認識されたTeraStationは、他のハードディスクと同じようにファイルの保存先としてお使いください。

TeraStationを設定(RAIDモードの変更、アクセス制限、ボリュームの作成、パスワードの変更など)したいときは、付属のユーティリティCDに収録されている「TeraStation設定ガイド」をお読みください。

RAIDの設定について

出荷時設定では、[RAID5 モード]として設定されています。[RAID モード]に変更したいときは、セットアップ後、次のように設定を変更してください。

RAIDモードを変更するとTeraStation内のハードディスクのデータは、全て削除されます。必要なデータが入っているときは、データをバックアップしてからRAIDモードを変更してください。

- 1.[スタート]-[すべての] プログラム]-[BUFFALO]-[iSCSI ハードディスク接続ツール]をクリックし、iSCSI ハードディスク接続ツールを起動します。
- 2.iSCSI ハードディスク接続ツールのメニューから [設定]-[WEB 設定画面を表示]をクリックします。ユーザ名 admin、パスワード password でログインします。
- 3.TeraStation の設定画面で、[ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。

以降は TeraStation 設定ガイドに記載の手順をご参照ください。

※ディスクの構成について
ディスクの構成には5つの方法があります。画面の指示にしたがって選択をしてください。

RAID5モード(工場出荷時)
TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを1つのアレイとして使用します。ドライブ1台分のパリティデータを保存しているため、ハードディスクが1台故障しても新しいハードディスクに交換してデータを復旧することができます(2台以上故障した場合復旧できません)。
RAID10モード
TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを1つのアレイとして使用します。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。同じデータを2個のハードディスクに同時に書き込んでいるので、ペア(1-2または3-4)を構成する一方のハードディスクが破損してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます(1-2、または3-4両方破損した場合はデータを復旧することはできません)。

RAID1モード
TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを2つのアレイとして使用します。RAID1では、2台のハードディスクをペアにして、それぞれのハードディスクに同じデータを書き込みます。ペア(1-2または3-4)を構成する一方のハードディスクが破損してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます(1-2、または3-4両方破損した場合はデータを復旧することはできません)。
RAID0モード
TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを1つのアレイとして使用します。使用できる容量は、ハードディスク4 台分の容量となります。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。ハードディスクが破損した場合、データを復旧することはできません。

通常モード
TeraStationに内蔵されている4台のハードディスクを4ドライブとして使用したいときに選択ください。

※RAID構築中はファイル転送速度が数時間(容量が1TBの場合、約6時間かかります)低下しています。前面液晶ディスプレイに「RAID ARRAY Resyncing」と表示されているときは電源をOFFにしないでください。

※各モードで使用できるハードディスク容量は、次のとおりです(画面に表示される容量は1kbytes=1024bytesで計算しているため、本紙記載の容量と異なります)。

モード	モデル		
	TS-R14.0TGL/R5	TS-R12.0TGL/R5	TS-R11.0TGL/R5
RAID5	3TB	1.5TB	750GB
RAID10	2TB	1.0TB	500GB
RAID1	1TB×2	500GB×2	250GB×2
RAID0	4.0TB	2.0TB	1.0TB
通常	1TB×4	500GB×4	250GB×4

使用モードを設定または変更すると、ハードディスクの内容はすべてフォーマットされます。重要なデータが保存されている場合は、使用モードを変更する前にバックアップしてください。

画面で見るマニュアルの読みかた 「TeraStation設定ガイド」



ユーティリティCDをパソコンにセットし、自動的に起動した画面(TeraNavigator)で、「マニュアルを読む」をクリックしてください。TeraStation設定ガイド(PDFファイル)が表示されます。

複数台のパソコンで使用する場合

TeraStationを複数のボリューム(またはドライブ)に分けてお使いの場合、複数台のパソコンで使用することができます。

※1ボリューム(または1ドライブ)を複数のパソコンで同時に使用することはできません。

1.TeraStationを複数のボリューム(またはドライブ)に分割します。分割するには、次の方法があります。

- ・RAID1モード、または通常モードに設定する
 - ・複数のボリュームに分割する
- ※設定手順はTeraStation設定ガイドをお読みください。
※ボリューム(またはドライブ)の構成を変更するとTeraStation内のデータは消去されます。必要なデータがある場合はあらかじめバックアップをしてください。
※ボリュームは最大10個まで作成できます。11台以上のパソコンでは使用できません。

2.付属のユーティリティCDをパソコンにセットします。

TeraNavigatorが起動します。
※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、「TSNavi.exeの実行」をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックしてください。

3.[かんたんスタート]をクリックします。

4.[パソコンのセットアップ]をクリックします。以降は画面のメッセージにしたがってiSCSIハードディスク接続ツールをインストールしてください。

5.[スタート]-[すべての]プログラム]-[BUFFALO]-[iSCSIハードディスク接続ツール]をクリックします。



- ①[iSCSIハードディスクを登録する]をクリックします。
- ②使用するボリュームを選択します。 ※すでに使用されているボリュームは選択することができません。
- ③[接続する]をクリックします。

※常にTeraStationを使用する場合は、[PCを起動したときに自動的に接続する]のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させた状態で[接続する]をクリックしてください。

7.接続したボリュームが未割り当て領域としてパソコンに認識されています。以降はWindowsで領域の確保、フォーマットをしてお使いください。

※Windows Vistaでの領域の確保、フォーマットの手順
1.iSCSIハードディスク接続ツールのメニューから[設定]-[ディスクの管理を呼び出す]をクリックします。[ディスクの初期化]画面が表示されたときは、初期設定のまま[OK]をクリックしてください。
2.未割り当て[]を右クリックし、表示されたメニューから[新しいシンプルボリューム]をクリックします。以降は画面の指示に従って、領域の確保、フォーマットを行ってください。
※Windows XP/2000での領域の確保、フォーマットの手順
1.iSCSIハードディスク接続ツールのメニューから[設定]-[ディスクの管理を呼び出す]をクリックします。[ディスクの初期化と変換ウィザード(ディスクのアップグレードと署名ウィザード)]が表示されたときは、画面の指示にしたがって手順を完了させてください。
[ディスクの初期化と変換ウィザード(ディスクのアップグレードと署名ウィザード)]が表示されたときは、画面の指示にしたがって手順を完了させてください。
[初期化(署名)するディスクを1つ以上選択してください]と表示される画面では、ディスクのチェックマークを表示した状態で[次へ]をクリックします。
[変換(アップグレード)するディスクを1つ以上選択してください]と表示される画面では、ディスクのチェックマークを外した状態で[次へ]をクリックします。
2.未割り当て[]を右クリックし、表示されたメニューから[新しいパーティション]をクリックします。以降は画面の指示に従って、領域の確保、フォーマットを行ってください。

ソフトウェアのご紹介

付属のユーティリティCD(TeraNavigator)では、次のソフトウェアやマニュアルをインストールすることができます。

セットアップ中に表示される選択画面でソフトウェアを選んでインストールします(TeraNavigatorの[オプション]をクリックし、画面の指示にしたがってインストールすることもできます)。

BUFFALO iSCSIハードディスク接続ツール

TeraStationを使用するにはiSCSIハードディスク接続ツールが必須です。iSCSI接続ツールでは、TeraStationの接続、設定画面の表示、IPアドレスの変更等を行うことができます。
TeraNavigatorの「かんたんスタート」をクリックしてセットアップすると、必ずインストールされます。



TeraStation設定ガイド

TeraStation 設定ガイド(PDFファイル)を読むためのショートカットアイコンをデスクトップにコピーします。本製品の制限事項や設定手順が記載されています。

Adobe Reader

マニュアル(PDFファイル)を読むにはパソコンにAdobe Readerがインストールしてある必要があります。Adobe Readerがない環境をお使いの場合にインストールしてください。使いかたについてはAdobe Readerのヘルプを参照してください。

※インストールしたソフトウェアを削除するには、TeraNavigatorの[オプション]-[ソフトウェアの削除]をクリックしてください。以降は画面のメッセージにしたがって操作します。

セットアップできないときは

TeraNavigatorでセットアップできないとき、セットアップしてもTeraStationが使用できないときは、付属のユーティリティCDに収録されている「TeraStation設定ガイド」をお読みください。代表的な現象と原因を以下に記載します。

現象:初期設定中に、「TeraStationが見つかりませんでした」「接続可能なTeraStationはありません」「設定を完了できません」と表示される。

- 原因1. LANケーブルが接続されていない
電源ケーブルとLANケーブルを接続し直し、再度TeraStationの電源スイッチをONにしてください。
- 原因2. ファイアウォール機能が有効となっている。常駐ソフトがインストールされている
ファイアウォール機能を無効にする。またはファイアウォール機能が有効となっているソフトをアンインストールして再度検索をお試しください。
- 原因3. 無線、有線アダプタがそれぞれ有効になっていない
TeraStationに接続するためのLANアダプタ以外を無効にしてください。
- 原因4. LANケーブルの不良、または接続が不安定になっている
接続するハブのポートやLANケーブルを変更してお使いください。
- 原因5. お使いのLANボードカードアダプタが故障している
LANボードカードアダプタを変更してお使いください。
- 原因6. お使いのLANボードやハブの伝送モードが設定されていない
LANボードやハブ側で伝送モードを[100M 半二重]または[100M 半二重]に変更してください。LANボードやハブによっては、伝送モードが[Auto Negotiation] (自動認識) に設定されていると、ネットワークに正しく接続できないことがあります。
- 原因7. ネットワークブリッジが存在する
使用していないネットワークブリッジが構成されている場合は、削除してください。
- 原因8. 異なるネットワークから検索を行っている
ネットワークセグメントを超えて検索を行うことはできません。検索するパソコンと同一のセグメントにTeraStationを接続してください。
- 原因9. TCP/IPが正しく動作していない
LANアダプタのドライバを再インストールしてください。
- 原因10. セットアップが2回目以降である(すでに一度セットアップを行っている)。
製品の初期化スイッチで初期化を行ってください。初期化につきましてはユーティリティCDに収録されているTeraStation設定ガイドをご参照ください。

TeraStationに突然接続できなくなりましたときは

お使いのネットワーク環境によっては、IPアドレスが変更されたときなど、突然TeraStationにアクセスできなくなってしまうことがあります。このようなときは、パソコンを再起動し、iSCSIハードディスク接続ツールで接続しなおしてください。

また、TeraStationのIPアドレスが変更されないよう、IPアドレスを固定して使用することをおすすめします。

IPアドレスの変更手順は、TeraStation設定ガイドをご参照ください。

TeraStationのデータのバックアップをおすすめします

TeraStationを使用していると、突然の事故、ハードディスクの故障や誤操作で大切なデータを失ってしまう可能性があります。そのようなときに、データを元に戻したり、被害を最小限に抑えるために、データのバックアップをとっておくことが大切です。バックアップ先には弊社大容量ハードディスクをお使いください。

製品仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

インターフェース(LAN)	インターフェース: IEEE802.3ab準拠(1000BASE-T)、IEEE802.3u準拠(100BASE-TX)、IEEE802.3準拠(10BASE-T)
伝送速度:	100Mbps全二重(自動認識)、100Mbps全二重/半二重(自動認識)、10Mbps全二重/半二重(自動認識)
ポート数:	1ポート (AUTO-MDIX対応)
コネクタ形状:	RJ-45型 8極
アクセス方式:	CSMA/CD方式
対応プロトコル:	TCP/IP、iSCSI
Jumbo Frameフレーム長:	1,518/4,102/7,422/9,694 Bytes (ヘッダ14Bytes+FC 4Bytes含む)
インターフェース(UPS)	インターフェース: UPS専用ポート(D-SUB 9ピン(オス))×1 対応UPS: オムロン社製UPS、APC社製UPS ※対応UPS製品名は弊社またはUPSメーカーホームページにてUPSを購入前にあらかじめご確認ください。
インターフェース(USB)	インターフェース: USB規格Revision2.0 コネクタ: USBコネクタ(シリズA)×2 対応USB機器: オムロン社製UPS、APC社製UPS ※UPS以外のUSB機器には対応しておりません。対応UPS製品名は弊社またはUPSメーカーホームページにて、UPSを購入前にあらかじめご確認ください。
内蔵ハードディスク	ディスクの構成: 出荷時にRAID5モードに設定済み ※別売交換ハードディスク(TS-R14.0TGL/RHGL/RH1GL/SH1GL/SH1GL)用 TeraStationのハードディスクが故障した場合は、下記のハードディスクに交換ください。交換手順については、TeraStation設定ガイドをお読みください。 TS-R1.0TGL/R5対応: TS-OPHD-H1.0TGL TS-R12.0TGL/R5対応: TS-OPHD-H2.0TGL TS-R14.0TGL/R5対応: TS-OPHD-H4.0TGL
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約57W(平均)
外形寸法	W430×H85×D423mm (突起部を除く)
重量	約10kg
動作環境	温度5～35℃、湿度20～80%(結露なきこと)
対応機種	対応パソコン DOS/MS-DOS/OS/2対応/パソコン ※LANインターフェースを搭載していること。 ※パソコンとiLAN接続に限り、USB接続はできません。
	対応OS Windows Vista/XP(SP2以降)/2000、Windows Server2008 Windows Server2003(SP1以降)